

平成10年4月

会員各位

(社)日本OR学会中国・四国支部  
支部長 河合 一

平成9年度中国・四国支部事業報告、  
収支決算並びに平成10年度事業計画、  
収支予算送付の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当支部につきましては、日ごろ格別のご支援ご協力を賜り厚くお  
礼申し上げます。

さて、去る4月10日「平成10年度定期総会」を開催し、標記  
につき審議承認されましたので、ここに同書類を同封にてお届けい  
たします。

つきましては、なにとぞご高覧のうえ、今後一層のご協力、ご支  
援の程お願い申し上げます。

敬 具

(社)日本OR学会中国・四国支部  
平成10年度支部総会次第

1. 開会の辞
2. 支部長挨拶
3. 平成9年度事業報告
4. 平成9年度決算報告
5. 監査報告
6. 平成10年度支部役員を選出
7. 平成10年度事業計画
8. 平成10年度予算計画
9. 支部規約変更
10. 新支部長挨拶
11. その他
12. 閉会の辞

(社)日本OR学会中国・四国支部  
平成9年度活動報告

1. 総 会 (1回)

日 時：平成9年4月7日(月) 14:00～15:00  
会 場：中国電力㈱ 1-4-1会議室  
(広島市中区小町4-33)  
議 題：(1) 平成8年度事業報告・決算報告  
(2) 平成9年度支部役員選出  
(3) 平成9年度事業計画・予算計画  
(4) その他

2. 役 員 会 (1回)

日 時：平成9年4月7日(月) 14:00～15:00  
会 場：中国電力㈱ 1-4-1会議室  
議 題：平成9年度支部総会の件

3. 幹 事 会 (3回)

- 1回 日 時：平成9年4月7日(月) 12:00～  
会 場：中電小町クラブ  
議 題：平成9年度支部総会の件
- 2回 日 時：平成9年6月13日(金) 17:00～19:00  
場 所：中国電力(株)本館  
議 題：(1) 中国・四国支部シンポジウム実施計画  
(2) その他
- 3回 日 時：平成10年1月28日(水) 17:30～20:00  
場 所：中電小町クラブ  
議 題：平成9年度活動報告

4. 講 演 会 (6回)

- 1回 日 時：平成9年4月7日(月) 15:00～16:00  
場 所：中国電力㈱1号館4-1会議室  
(広島市中区小町4-33)  
演 題：「ゲームの理論とその応用」  
講 師：西崎 一郎 氏(広島大学工学部助教授)  
参加者：19名
- 2回 日 時：平成9年8月1日(金) 13:00～14:00  
場 所：広島大学 工学部 218号教室  
(東広島市鏡山1-4-1)

- 演題：「ベイズによる指数分布の信頼度関数表現」  
 講師：堀籠 教夫 氏  
 (東京商船大学交通電子制御工学講座教授)  
 参加者：23名  
 (日本経営工学会中国・四国支部と共催)
- 3回 日時：平成9年11月7日(金) 13:30~14:30  
 場所：広島大学工学部 218講義室  
 (東広島市鏡山 1-4-1)  
 演題："Monotonicities in a Markov chain model for  
 valuing corporate bonds subject to credit risk"  
 講師：木島 正明 氏  
 (東京都立大学経済学部教授)  
 参加者：15名  
 (日本経営工学会中国・四国支部と共催)
- 4回 日時：平成9年11月28日(金) 13:30~15:00  
 場所：広島大学工学部第二類 C1-112室  
 (東広島市鏡山 1-4-1)  
 演題：「画像認識によるロボットの知能化」  
 講師：大崎 紘一 氏  
 (岡山大学工学部教授)  
 参加者：34名  
 (日本経営工学会中国・四国支部と共催)
- 5回 日時：平成9年12月 3日(水) 13:00~14:00  
 場所：広島大学工学部第二類会議室 C1-112室  
 (東広島市鏡山 1-4-1)  
 演題："Research in the Knowledge-Based Intelligent  
 Engineering Systems Centre"  
 講師：Professor L.C. Jain  
 (Director of Knowledge-based Intelligent Engineering  
 Systems Centre, University of South Australia,  
 Adelaide, Australia)  
 参加者：20名  
 (日本経営工学会中国・四国支部と共催)
- 6回 日時：平成10年2月16日(月) 14:50~16:20  
 場所：広島修道大学総合研究所共同調査研究室  
 (第2研究棟内2階)  
 (広島市安佐南区沼田町大塚 1717)  
 演題：「小売業における新製品監視政策に関する数理モデル」  
 講師：三道 弘明 氏  
 (流通科学大学情報学部経営情報学科)  
 参加者：7名  
 (広島修道大学経済学部との共催)

## 5. 日本ファジィ学会中四国支部例会への協賛

日 時： 平成9年9月12日（金）14:00～16:30

場 所： 鳥取大学 工学部 電気電子工学科棟2階

内 容：

時 間	題 目	講 師
14:00- 15:00	「Self Organized Map 最新事情」	徳高平蔵氏（鳥取大学工学部）
15:00- 15:30	休憩	
15:30- 16:30	「ファジィ情報処理」	馬野元秀氏（大阪府立大学 総合科学部）

## 6. 日本OR学会創立40周年記念 中国・四国支部記念式典・シンポジウム （10ページ参照）

## 7. 研究部会

1. 線形モデル活用研究部会（11ページ参照） 7回
2. インターネット研究部会（13ページ参照） 2回

(社)日本OR学会中国・四国支部  
平成9年度決算報告書

1. 貸借対照表

平成10年2月28日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	0	前期繰越金	316,605
預 金(1)	335,617	当期運営残高	19,012
合 計	335,617	合 計	335,617

(1) 広島銀行 西条支店

2. 収支決算書

自 平成9年3月1日  
至 平成10年2月28日

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	368,820	389,310	
預金利息	200	335	
その他	0	0	
①合 計	369,020	389,645	
(支出の部)			
会議費	100,000	87,828	
講演会費	100,000	90,000	
研究発表会費	20,000	0	
ORサロン費	20,000	0	
シンポジウム費	100,000	0	
研究部会費	80,000	80,000	
協賛費	40,000	0	
通信費	120,000	86,720	
印刷費	40,000	20,000	
交通費	30,000	0	
事務費	30,000	6,085	
予備費	5,625	0	
②合 計	685,625	370,633	
③当期運営残高		19,012	①-②
④前期繰越金		316,605	
⑤次期繰越金		335,617	③+④

(社)日本OR学会中国・四国支部  
平成10年度支部役員(50音順)

支部長	河合 一	(鳥取大学)	(新)
副支部長 (4名)	朝生 一夫	(川崎製鉄)	(再)
	大関 博	(マツダ)	(再)
	高見 幸正	(中国電力)	(留)
	成久 洋之	(岡山理科大学)	(再)
支部評議員 (10名)	石田 徳孝	(松山大学)	(留)
	井塚 滋夫	(川崎製鉄)	(留)
	金指 正和	(近畿大学)	(再)
	坂和 正敏	(広島大学)	(再)
	田口 豊	(中国情報システムサービス)	(再)
	鳥居 裕	(四国電力)	(再)
	平木 秀作	(広島大学)	(再)
	廣光清次郎	(広島修道大学)	(再)
	向井 勉	(中電技術コンサルタント)	(再)
	山田 茂	(鳥取大学)	(留)
支部監事 (2名)	桑原兵二郎	(近畿大学)	(留)
	玉廣 靖司	(中国電力)	(留)
支部幹事 (21名)	井野口 稔	(中国電力)	(留)
	大本 至宏	(川崎製鉄)	(再)
	海生 直人	(広島修道大学)	(留)
	梶川 祐朗	(中国情報システムサービス)	(留)
	亀多 正人	(呉大学)	(再)
	亀山 嘉正	(岡山県立大学)	(再)
	上司 正善	(マツダ)	(再)
	木村 光宏	(鳥取大学)	(新)
	小柳 淳二	(鳥取大学)	(新)
	佐藤 泰司	(山口大学)	(留)
	椿 康和	(広島大学)	(再)
	得能 貢一	(鳥取大学)	(新)
	土肥 正	(広島大学)	(再)
	中内 伸二	(四国電力)	(留)
	中村 仁士	(中電技術コンサルタント)	(再)
	錦織 昭峰	(広島県立大学)	(再)
	日比野政彦	(三菱重工業)	(留)
	松富 達夫	(近畿大学)	(再)
	松廣 斎	(広島工業大学)	(再)
	村上 義博	(広島大学)	(再)
	本岡 正則	(中国新聞)	(留)
支部顧問 (4名)	青木 兼一	(広島大学)	
	尾崎 俊治	(広島大学)	
	貝川 健一	(中国電力)	
	権藤 元	(近畿大学)	

(社)日本OR学会中国・四国支部  
平成10年度事業計画

- 1. 総会 1回
- 2. 役員会 若干回
- 3. 幹事会 若干回
- 4. 講演会 4回
- 5. 研究発表会 若干回
- 6. ORサロン 若干回
- 7. シンポジウム 2回
- 8. 研究部会 若干回

{ データ解析モデリング研究部会  
   主査：権藤 元  
   幹事：内海 良夫・林 哲也  
 { 確率モデルとその応用研究部会  
   主査：山田 茂  
   幹事：木村 光宏・小柳 淳二・得能 貢一

- 9. 会員増強活動
- 10. 新編 OR事典 資料編 (支部史) (仮称) への対応
- 11. その他

参考資料

個人・賛助会員数推移状況

年 度	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97
会員数	129	150	154	153	153	157	151	155	156	156
賛助* 会員数								8 10	7 9	7 9

\* 賛助会員数の項では、上段は賛助会員の数、下段は口数を示す。

(社)日本OR学会中国・四国支部  
平成10年度支部収支予算

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	335,617	会 議 費	100,000
本部交付金	368,820	講 演 会 費	100,000
預金利息	200	研究発表会費	10,000
		ORサロン費	10,000
		シンポジウム費	100,000
		研究部会費	80,000
		協 賛 費	40,000
		通 信 費	120,000
		印 刷 費	60,000
		交 通 費	40,000
		事 務 費	40,000
		予 備 費	4,637
合 計	704,637	合 計	704,637

(409,800)  
△ 5% 389,310  
△10% (368,820)

日本OR学会創立40周年記念 中国・四国支部記念式典・シンポジウム

日 時： 平成9年7月11日（金）

場 所： 中国電力㈱本店

プログラム

第Ⅰ部：記念講演 [於 1号館2階大会議室] 参加者 約300名  
10:30～12:00 「ネットワーク社会と経営」

北城格太郎（日本アイ・ビー・エム社長）

協 賛：(社)情報処理学会 中国支部  
(五十音順) 中国生産性本部  
(社)電子情報通信学会 中国支部  
(社)日本経営工学会 中国・四国支部  
日本ファジィ学会 中国・四国支部  
(社)広島県情報産業協会

第Ⅱ部：記念式典・シンポジウム [於 2号館8階大会議室]

時 間		「題 目」 講 師
13:30～13:40	挨拶	刀根 薫（日本OR学会会長） 貝川 健一（日本OR学会中国・四国支部長）
13:45～14:00	報 告	「日本OR学会長期ビジョン」 梅沢 豊（長期計画委員会委員長）
14:00～15:30	新潮流報告	「経営の科学としての新潮流」 刀根 薫（埼玉大学教授）
15:30～17:00	支部講演	「情報家電の動向と将来課題」 広瀬 正（日立製作所情報事業部部長）

第Ⅲ部：OA機器・ソフト展示会 [於 1号館1階ロビー（東側）]

開 催 日：平成9年7月10日（木）～7月11日（金）

開催時間：午前10時～午後5時

協 賛：日本アイ・ビー・エム㈱西日本支社  
(五十音順) 日本電気㈱中国支社  
㈱日立製作所中国支社  
富士通㈱中国支社

懇親会：

日 時：平成9年7月11日（金）17:30～19:00

会 場：中国電力㈱小町クラブ

参加者：正・賛助会員 43名 学生会員 1名

## 平成9年度「線形モデル活用」研究部会活動報告

主査 権藤 元 (近畿大学)  
幹事 内海良夫 (YS企画)  
林 哲也 (中国電力)

### 1. 研究部会実施報告

- (1)平成9年6月27日(金) 16:00-18:00 (通算7回目)  
中国電力(株) 1-9-1会議室  
「AHPを用いた将来の電力設備に対する発電方式のベストミックスについて」  
千田 裕司 氏 (岡山県立大)  
参加者 16名
- (2)平成9年8月1日(金) 14:00-17:00 (通算8回目)  
広島女子商短期大学 事務室2階会議室  
「商学経営系の短大におけるORと情報教育について」  
宮崎正史 氏 (広島女子商短期大学)  
参加者 10名
- (3)平成9年9月25日(木) 16:00-18:00 (通算9回目)  
中国電力(株) 1-11-4会議室  
「包絡分析法(DEA)適用にあたっての2,3の工夫」  
-日米電気事業の効率性比較事例において-  
北村美香 氏、筒井美樹 氏 (電力中央研究所)  
参加者 5名
- (4)平成9年10月23日(木) 16:00-18:00 (通算10回目)  
中国電力(株) 1-10-1会議室  
「翌日最大電力需要予測のための回帰モデルの提案」  
-前日比に影響を与える諸要因の評価-  
越智 源 氏、権藤 元 氏 (近畿大学)  
参加者 12名
- (5)平成9年11月26日(水) 16:00-18:00 (通算11回目)  
中国電力(株) 1-6-2会議室  
「マハラノビスの距離と遊ぼう」  
-いろいろなマハラノビスの距離の活用事例の紹介-  
関 泰郎 氏、権藤 元 氏 (近畿大学)  
参加者 9名
- (6)平成9年12月25日(木) 16:00-18:00 (通算12回目)  
中国電力(株) 1-11-4会議室  
「Excelの特色を活かしたAHPシートの紹介」  
正田博基 氏、権藤 元 氏 (近畿大学)  
参加者 10名

(7)平成10年1月23日(金) 16:00-18:00(通算13回目)  
 中国電力(株)1-10-1会議室  
 「Excelの特色を活かしたPERTシートの紹介」  
 黒木健一、権藤元氏(近畿大学)  
 参加者 9名

## 2. 収支報告

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
支 部 交 付 金	40,000	通 信 費	2,910
前 期 繰 越 金	18,253	会 議 費	14,400
		謝 礼 金	12,000
		次 期 繰 越 金*	28,943
合 計	58,253	合 計	58,253

\*シンポジウム(3/6)積立金

# 「インターネット」研究部会活動報告

主査 椿 康和 (広島大学)  
幹事 廣光清次郎 (広島修道大学)  
向井 勉 (中電技術コンサルタント)

## 1. 研究部会実施報告

- (1)平成9年12月10日(水) 16:00~18:30  
広島県情報プラザ3F会議室  
「Java技術の最新動向と技術・マーケットの懇談会」  
—広島シリコンバレー構想(仮称)の実現に向けて、その可能性は—  
参加者 15名

議 題:

- (1)トピックス1:宮田純一・(有)セブンスムーン社長  
ネットワーク関連技術(Java関連、サーバー技術など)の最新動向
- (2)トピックス2:刀弥 繁・日本サンマイクロシステムズ、マーケ  
ティング本部・ソリューション企画推進部長  
IAP(Internet Association Program//SI, ソフトウェア技術者、ハードウェア  
ディーラーを対象とした、サンによるJAVA技術に関する支援サービス),  
Catalyst制度(ソフトウェアハウスを対象とする、SPARC/Solaris上で稼働  
するアプリケーションソフトの開発・販売支援サービス)の紹介
- (3)懇談:Javaの現状と広島におけるビジネス展開の意味・可能性に  
について

## 2. 「キャンパスネットワークの現状と利用(第3回)」研究発表会

中国・四国インターネット協議会キャンパスLAN利用研究部会  
日本OR学会中国・四国支部インターネット研究部会  
マルチメディア時代の新しい教育研究会

日 時 平成10年2月27日(金) 10:30~16:40

場 所 広島大学東千田キャンパス402号教室  
参加者 75名(一般54名, 学生21名)

### プログラム

題 目	
A1「広島修道大学のネットワークと情報教育」	記谷 康之・松田 俊・ 阿部 耕一郎(広島修道大学)
A2「安田女子大学におけるインターネット利用教育」	染岡 慎一(安田女子大学)
A3「広島大学経済学部における情報教育環境 —Windows95からNTへ—」	八城 年伸・椿 康和 (広島大学)
A4「インターネットを利用したデザイン支援システム の開発」	川口 博之・黒瀬 能幸 (近畿大学)

B1「広島修道大学におけるサーバ群の運用」	下山 芳令・廣光 清次郎 (広島修道大学)
B2「広島大学情報ネットワーク HINET の利用状況」	原田 隆・吉田 朋彦・相原 玲二 (広島大学)
B3「広島工業大学新キャンパスネットワークの現状」	小関 祐二・殿塚 勲 (広島工業大学)
B4「広島市立大学における電子メールの利用状況」	河野 英太郎・前田 香織 (広島市立大学)
B5「学内 LAN を活用した学生寮 LAN の実践」	山口 巧・端 平雄 (高知工業高等専門学校)
C1「ストリーミングビデオの教育工学的応用について」	今井一雅・岩崎洋平 (高知工業高等専門学校)
C2「PGP を利用したメーリングリスト」	新田 賢治 (市立宇和島病院) 鎌田 良知 (宇和島精神病院) 久慈 敏信 (愛媛県立中央病院)
C3「国際シンポジウムにおけるインターネットマルチキャスト実験」	景山 征司・廣光 清次郎 (広島修道大学)
C4「インターネットとデータ保護」	北原宗律 (広島修道大学)
C5「CSI における IPv6環境構築の研究計画」	山村 直幸 (広島修道大学) 前田 香織 (広島市立大学) 相原 玲二 (広島大学)

## 2. 収支報告

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
研究部会費	40,000	第1回研究部会補助	10,000
共催団体(CSI)からの 研究会開催費補助	80,000	予稿集印刷費	110,000
第2回研究部会参加費	56,000	第2回研究部会懇親会費	56,000
合 計	176,000	合 計	176,000

訂正のお願い

総会議事録の8ページ(8. 研究部会の項)

(誤)

データ解析モデリング研究部会

主査：権藤 元

幹事：内海 良夫・林 哲也

(正)

データ解析モデリング研究部会

主査：権藤 元

幹事：三谷 克之輔・林 哲也

## 中国・四国支部規約

### (名 称)

第 1 条 本支部は、日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部と称する。

第 2 条 本支部は、事務所を鳥取県鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大学 工学部 社会開発システム工学科内におく。

### (目 的)

第 3 条 本支部は、日本オペレーションズ・リサーチ学会（以下本部と称する）の目的達成のために必要な地域活動の推進をはかる。

### (事 業)

第 4 条 本支部は、前条の目的を達成するためにオペレーションズ・リサーチに関する次の事業を行なう。

- (1) 研究会、講演会の開催
- (2) 図書、文献の収集、保存
- (3) 印刷物の作成、配布
- (4) その他必要と認められる事業

### (会 則)

第 5 条 本支部は、原則として次の地域に在住または勤務する会員（正会員、学生会員、賛助会員の代表者または代理者、名誉会員）をもって構成する。

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県

### (役 員)

第 6 条 本支部は、次の役員を置く。

- (1) 支 部 長 1 名
- (2) 副 支 部 長 若干名
- (3) 支 部 評 議 員 若干名
- (4) 支 部 監 事 2 名
- (5) 支 部 幹 事 若干名

第 7 条 役員を選出は、支部総会において会員の互選による。

第 8 条 役員任期は、2年とする。ただし再任はさまたげない。

第 9 条 役員欠員を生じた場合は、役員会の推薦により、補充することができる。ただし後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

第 10 条 本支部に支部顧問をおくことができる。本支部の活動に特に貢献があった者を支部顧問として役員会が推薦し、これに基づいて支部長が委嘱する。支部顧問は支部の重要事項について支部長の諮問に応じて意見を述べ、随時会議に出席することができる。

### (運 営)

第 11 条 支部長は、支部を代表するとともに、支部業務を総括し、支部会議を招集してその議長の任にあたる。

第 12 条 副支部長は、支部長を補佐し、支部長事故あるときは、支部長の業務を代行する。

第 13 条 支部評議員は、支部長の諮問に応じる。

第 14 条 支部監事は、支部の業務および会計を監査する。

第 15 条 支部幹事は、支部業務の円滑な運営にあたる。

第 16 条 支部は、本部の庶務、刊行物および会計に関する内規の適用を受ける。

### (会 議)

第 17 条 支部会議は、支部総会および支部役員会とする。

第 18 条 通常支部総会は、年1回、会計年度終了後2ヶ月以内に、支部長が招集する。また、役員会が必要と認めるとき、および支部会員の  $\frac{1}{5}$  以上が要請するときは、臨時支部総会を開催する。  
支部総会は、会員現在数の  $\frac{1}{3}$  以上の出席をもって成立する。ただし、委任状による出席を認める。

第 19 条 支部総会は、次の事項を審議・決議し、決議事項はすべて本部に報告し、承認を受ける。

- (1) 役員を選出
- (2) 運営方針、事業計画および予算、事業報告および決算
- (3) 支部規約の変更
- (4) その他

第 20 条 支部役員会は、支部長、副支部長、支部評議員、支部監事、支部幹事をもって構成し、必要の都度開催する。

支部役員会は、構成員の  $\frac{2}{3}$  以上の出席をもって成立する。ただし、委任状による出席を認める。

第 21 条 支部会議の議決は、とくに定める場合を除き、出席者の過半数で決する。

なお委任状による議決への参加を認める。

(会 計)

第 22 条 支部は、本部からの交付金をもってその経費にあてる。

第 23 条 支部の会計年度は、毎年3月1日から、翌年2月末日までとする。

第 24 条 支部は、毎年度末に事業ならびに収支報告書を作成し、本部に提出する。

(支部規約の変更)

第 25 条 この支部規約は、支部総会で出席者の  $\frac{2}{3}$  以上の賛成を得、かつ本部理事会の承認を得て変更することができる。

(附 則)

本支部規約は、昭和48年3月1日より施行する。

本支部規約は、昭和49年3月1日一部改正した。

本支部規約は、昭和51年3月1日一部改正した。

本支部規約は、昭和57年3月1日一部改正した。

本支部規約は、昭和63年3月1日一部改正した。

本支部規約は、平成4年3月1日一部改正した。

本支部規約は、平成10年3月1日一部改正した。

各 位

(社) 日本 OR 学会 中国・四国支部  
支部長 河合 一

## 「確率モデルとその応用研究部会」開催のお知らせ

平成 10 年度支部総会（平成 10 年 4 月 10 日）におきまして、上記研究部会を設けることが承認されました。つきましては、当該研究部会を下記の要領にて開催いたしますので、多数ご参加ください。

### 記

1. 研究部会名称：確率モデルとその応用 (Stochastic Model and Its Application) 研究部会
2. 目的：さまざまな分野におけるシステムの確率モデルやその最適化などへの応用に関する研究や調査を行います。
3. 開催について：年間 5～6 回程度の研究会と、年間 1 回のシンポジウムを、原則として鳥取大学工学部において開催します。
4. 第 1 回研究部会開催について：
  - (1) 場 所: 鳥取大学工学部社会開発システム工学科会議室  
鳥取市湖山町南 4-101
  - (2) 日 時: 平成 10 年 5 月 20 日（水）15:00～17:00
  - (3) 内 容: 1. 主査挨拶  
2. 研究発表  
「死滅過程の一拡張とそのソフトウェア信頼性評価への応用」  
鳥取大学工学部社会開発システム工学科 木村光宏  
3. その他
  - (4) 注 意: 参加希望者は事前に下記にご連絡下さい。
5. 連絡先：（主査）山田茂  
鳥取大学工学部社会開発システム工学科  
TEL: (0857)31-5303  
E-mail: yamada@sse.tottori-u.ac.jp  
（幹事）木村光宏  
鳥取大学工学部社会開発システム工学科  
TEL: (0857)31-5304  
E-mail: kim@sse.tottori-u.ac.jp  
（幹事）小柳淳二  
鳥取大学工学部社会開発システム工学科  
TEL: (0857)31-5308  
E-mail: junji@sse.tottori-u.ac.jp  
（幹事）得能貢一  
鳥取大学工学部社会開発システム工学科  
TEL: (0857)31-5320  
E-mail: toku@sse.tottori-u.ac.jp

平成10年4月

会員各位

日本OR学会中国・四国支部  
データ解析モデリング研究部会  
主査 権藤 元

### 第1回「データ解析モデリング」研究部会の開催のお知らせ

97年度まで2年間13回にわたって「線形モデル活用」研究部会を開催してまいりましたが、本年度からより焦点を絞って、データ解析を有効に役立てるために欠かさないモデリングを対象に研究部会を開催することになりました。その第1回を下記の通り開催いたしますのでご案内いたします。

なお、データ解析のニーズをなんとなく感じておられる方から、より深く研究しようという方までご参加いただきたく存じます。言換えますと、理論と実践の橋渡しの役割を果たすことができれ幸いと思います。

この研究部会はORをご存知でなくても誰にでも判かりやすいようにと心がけておりますので、広くお誘い下さるようお願い申し上げます。

#### 記

日 時 平成10年5月15日(金) 16:00-18:00

場 所 中国電力(株) 1-10-4 会議室  
広島市中区小町4-33 (中国電力1号館11階)

テーマ データ解析モデリング研究部会の進め方

主査の方で趣旨など説明いたしますが、今回は参加の皆さんで研究部会の進め方を討議したいと存じます。

別紙にデータ解析モデリング研究部会開催のねらいを用意しました。

主査 権藤 元 (元近畿大学) TEL 0829-38-0158  
FAX 0829-38-1383  
E-Mail hajime.gondo@nifty.ne.jp

幹事 三谷克之輔 (広島大学) TEL 0824-24-7973  
FAX 0824-22-7069  
E-Mail kmitani@ipc.hiroshima-u.ac.jp

林 哲也 (中国電力) TEL 082-241-0211  
FAX 082-246-6705  
E-Mail 690310@pnet.energia.co.jp

## データ解析モデリング研究部会開催のねらい

データ解析モデリング研究部会開催の主旨を述べさせていただきますが、まず、次の一文をお読み下さい。

モデルはあってもデータが不足していた状態から、データはあるのにモデルが明確でない状態への逆転が生じた。モデルの構築や「データ洪水」問題などへのORによる本格的取組が、今まさに社会から期待されている。さらに、ここ数年のパーソナルコンピュータ、その利用技術、およびネットワークの長足の進歩は、かつての超大型計算機をオフィスの一人ひとりの卓上にもたらした。これにより「誰でも」ORを容易に実施できる状況がうまれつつある。

これは、

創立40周年記念長期計画 1997年6月  
日本オペレーションズ・リサーチ学会  
創立40周年記念長期計画委員会

の

### 3.1 ORをとりまく環境の変化

からの抜粋です。

この研究部会はデータ解析モデリングを中心として、上記の主旨で開催するといってもよいのではないかと存じます。

みなさまのご支援のもとなんらかの成果を期待する次第です。

以上

平成10年4月

会員各位

日本OR学会中国・四国支部  
支部長 河合 一

平成10年度第2回講演会開催のお知らせ

主催： 日本OR学会中国・四国支部  
共催： 日本経営工学会中国・四国支部

拝啓 時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、標記につき日本経営工学会中国・四国支部と共催で下記の通り講演会を開催いたしますので、多数ご出席頂きますようご案内申し上げます。

敬具

記

日時： 平成10年6月1日（月） 午後2時～3時  
場所： 広島大学工学部 第二類 会議室  
講師： **Professor D. N. Pra Murthy**

(Department of Mechanical Engineering  
The University of Queensland  
Brisbane, Queensland 4072, Australia)

講演題目： **PRODUCT WARRANTIES AND OPERATIONS RESEARCH**

Almost every kind of product (consumer durable, industrial or commercial) is sold with some form warranty. Product warranty has become increasingly important for both sellers and buyers of such products for different reasons. The literature on warranties is vast and scattered across a diverse range of disciplines which includes Operations Research. The seminar will give a brief overview of this vast literature and discuss new topics in product warranties where Operations Research can make further contributions.

問い合わせ先：

尾崎俊治，土肥正  
〒739-8527  
東広島市鏡山1-4-1  
広島大学工学部 第二類（電気系）  
電話： 0824-24-7698, 7697  
FAX： 0824-22-7025  
Email: {osaki, dohi}@gal.sys.hiroshima-u.ac.jp

以上